

平成27年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第1回）議事要旨

1 日 時 平成27年7月2日（木）14:00～17:00

2 場 所 新見公立大学 本館2階 会議室A

3 出席者

(1) 評価委員会 新中委員長、森口委員、杉委員

(2) 公立大学 難波学長、公文副学長、奥舎事務局長、斎藤学生部次長、古屋次長、
吉田参与、黒川主査、羽場主事

(3) 事務局 上山課長、宮地係長、掛屋主査

4 議 事

(1) 平成26年度実績報告書及び財務諸表の評価等について

「平成26年度事業報告書」、「平成26年度に係る業務の実績に関する項目別実績報告書」、「平成26年度財務諸表」、「平成26年度決算報告書」の各資料に基づき、公立大学から説明を受けた。

今回の評価委員会では、大学からの説明にとどめ、次回評価委員会（7月15日（水）午後1時30分～）にて審議することとした。詳細は、以下のとおり。

<p style="text-align: center;">委員発言要旨</p> <p>※質問4件</p>	<p style="text-align: center;">事務局（大学）回答要旨</p> <p>※●は質問への回答ではなく、自主的な発言</p>
<p>[事業報告書について] 特になし</p> <p>[項目別実績報告書について]</p> <p>1 学生の確保対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内でもいろいろなキャッチフレーズで、学生確保対策に努めているのを見かける。 ・大学だけでなく、市もPRを考えないといけない。 	<p>[事業報告書について] 特になし</p> <p>[項目別実績報告書について]</p> <p>● 教員に対する行政からの各種の委員就任要請には全て対応している。20くらいあり、少し加重なのかなと思うが、できることは全て対応する方針である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18歳以下人口の絶対数が減ってきている。将来の学生確保対策については全国的に大変な時代を迎えた。全力で取り組まなければいけない課題である。地域福祉学科の定員割れについては予想できていた。（地域福祉学科長にもハッパをかけたが、動きは鈍かった。）

	<p>312円などである。</p> <ul style="list-style-type: none">・定員割れについては、当方の考えも甘かったし、来年度同じような状態になると、学科そのものをどうするかを検討が必要となる。・18歳未満人口の減少により、厳しい環境になる。職員教員ともしっかり努力しないといけないと考えている。・赤字決算ということは、支払が滞っていたということで、どうにもならない場合は一時借り入れが必要となる。
--	--

(2) 次回開催日について

- ・平成27年7月15日(水) 13時30分からとした。

以上